

(仮称)田名のあすを拓く会 第2回企画会議 議事概要

日 時：平成18年2月28日(火) 午後7時～午後9時30分

会 場：田名公民館 小会議室

1 「安全・安心情報システム」について

前回の企画会議で話題に挙がった「安全・安心情報システム」について、交通・地域安全課より説明があり、参加者と交通・地域安全課との間での質疑応答が行われた。

地域で活用できる「グループメール」の機能について、実際に運用するかどうかを含め、交通・地域安全課を交えた数名の有志からなるワーキンググループで検討することとした。

2 アンケートの実施について

(1) 配布・回収方法について

- ・配布方法は、自治会を通じて各戸配布が良い。関心が無ければ返ってこない。
- ・最近、住民のプライバシー意識が高い。自治会長でも回収は難しい。

(2) 対象について

- ・小学校なら、保護者だけが対象にはなるが、配布・回収できる。
- ・幼稚園・小学校の保護者ならば、若年層が対象になるので、ある意味では良い。
- ・自治会と学校の両方で実施すると、ダブって回答してしまう可能性がある。
- ・自治会加入者以外にも、こういう活動があるということを知らしめる必要がある。
- ・学校で実施すると、40歳代以上が薄くなる。地域の力は40歳代以上にもある。

(3) 結果分析について

- ・分析結果を受けて、今後の活動にどう反映させるのかが重要。
- ・学校での配布回収では、気取ってしまい、あまり否定的な意見は出ないのでは。

(4) 実施方針について

- ・会議に参加して意見を言ってもらう程度の軽いものにしたい。「犬の散歩はしますか」「買い物には何時頃行きますか」など、ざっくりばらんなことを聞き、どの程度そのような人がいるのかを把握したい。誰でも自発的な活動が出来るようになれば良い。

アンケートの大枠について、活動参加呼び掛け型と状況把握型の2パターンが挙がり、参加者それぞれの意見も少しずつ異なっていることから、数名の有志によるワーキンググループで、方針・組立てを決めることとした。

3 「伊勢原市の一軒一灯運動」に関する情報について

前回の企画会議で話題に挙がった標記の件について、事務局で調べ、資料を提示し情報提供を行った。

4 「あいさつ運動」について

参加者各自が方策を検討することを再確認し、次回、引き続いて審議することとした。

5 組織のあり方、会則、名称等について

会則の概要案を事務局側で提示したが、時間的制約により、次回以降審議することとした。

6 次回日程、次回までの検討課題について

次回(第3回企画会議)は、3月28日(火)午後7時より、田名分署会議室で行うこととした。引き続き検討することとしては、以下のとおりとなった。

「安全・安心情報システムに関連した情報の発信」の具体策については、ワーキンググループで検討する。

アンケートの方針・枠組みについては、ワーキンググループで検討する。

「あいさつ運動」について、成功する方策を参加者全員が各々検討する。

会則、名称については、今回提示した概要案に目を通し、参加者が検討する。